

社会貢献活動

1. 学生ボランティア活動

学生団体のボランティア活動で以下のような活動を展開している。

1) ボランティア・まちづくり活動助成(公開審査会&ドネーションパーティー)

ボランティア活動に取り組む学生団体や、まちづくりに携わるゼミ等を応援するために、大学同窓会と共催で活動への助成を実施。2017年6月24日に交換審査会を行い、10団体に対し総額30万円を助成した。さらに、当日卒業生や地域の方々から寄付を募り、総額138,000円の寄付が集まった。

2) 主な学生団体のボランティア活動

■ 聖学院大学ボランティアアソシエーション：GRACE

学内でキリスト教行事の他、学外でのボランティア奉仕活動を展開。2017年度は全学礼拝(火～金曜日)の運営、児童養護施設などでの奉仕活動、東南アジアの子どもを支援する募金活動などを継続的に行っている。

■ 聖学院大学復興支援ボランティアチーム：SAVE

東日本大震災の復興支援を目的に発足。年2～3回岩手県釜石市で実施する「復興支援ボランティアスタディツアー」の企画・運営や学園祭や地域のイベントでの活動報告、募金活動などを実施している。

■ アカペラ部：てくてく

年に数回大学周辺の地域イベントに出演し、歌声を披露している。

■ 児童文化研究科：てふてふ

絵本サロンを定例で実施するほか、夏休みに大学にて「こどもまつり」を実施している。

■ ほたる祭り実行委員会

飼育したホタルを地域の方々に鑑賞していただく「ほたる祭り」の企画・運営を行っている。2017年6月10日に実施。

■ ボラフェス実行委員会

大学学園祭(ヴェリタス祭)2017年11月3日～4日に合わせ、地域の福祉施設を招いての模擬店販売や、児童虐待防止を呼び掛けるオレンジリボンキャンペーンなどを実施。福祉を身近に感じる機会を作るとともに、ボランティア紹介の機会を作った。

2. 地域連携・ボランティア活動

1. 東日本大震災復興支援活動

1) 被災者親子への支援活動等

こども心理学科・金谷京子、児童学科・坂本佳代子(共に教員)及び臨床発達心理士会により、以下のような支援を継続。(2011年～)

・加須・所沢に避難している親子への支援・いわき市仮設での遊び広場開催・南相馬の専門職研修・保護者心理相談・熊本の子ども広場支援・専門職研修

2) 岩手県釜石市を主な拠点とした活動(2016年4月～2017年3月)

2011年12月より岩手県釜石市にて復興支援活動に取り組んでいます。春の「桜プロジェクト」、夏の「よいさっ!プロジェクト」、冬の「サンタプロジェクト」など年間を通じて活動しています。

日程	内容	場所	参加人数
4月15日～16日	ボランティアスタディツアー「桜プロジェクト6」 さいたま市「清香園」協力により盆栽桜の植樹や復興住宅の居住者との交流会を実施	釜石市鶴住居地区ほか	学生6名、教職員3名
8月4日～7日	ボランティアスタディツアー「よいさっ!プロジェクト4」 「釜石よいさ」の参加、子どもたちを対象とした「かまっこ★あそびーらんど」の実施。自由の森学園高校の生徒も参加。	岩手県釜石市 宮城県名取市	学生26名、教職員9名 高校生11名 高校教員1名
12月1日～3日	ボランティアスタディツアー「サンタプロジェクト7」 被災地見学、郷土料理づくり、交流会、こどもクリスマス会、仮設住宅の清掃等を実施。自由の森学園高校の生徒も参加。	釜石市鶴住居地区ほか	学生28名、教職員9名 高校生4名 高校教員1名

3) 宮城県仙台市を拠点とした活動

東北教区被災者支援センター・エマオを拠点に学生中心に子どもの遊び場と農業支援を実施(2015年～)

4) 岩手県下閉伊郡田野畑村を拠点とした活動

陸上競技部有志による保育園や児童館の子どもたちを対象とした「キッズかけっこ教室」を実施(2015年～)

2. 地域連携活動他

2013年4月、地域連携・教育センターが開設し、以降、さいたま市、上尾市、春日部市、埼玉県、岩手県釜石市を中心に地域連携活動を積極的に展開しています。また、2018年2月には埼玉県と上尾警察署と連携し、聖学院大学防犯ボランティアチーム STOP! を発足しました。

日程	内容	場所	人数
2017年 6/3	上尾市環境推進大会 ボランティア参加	上尾市文化センター	学生2名
6/24	ボランティア活動助成公開審査会・ドネーションパーティ	本学	約60名 (学生・教職員約30名、 地域の方々・卒業生約30名)
6/25	パストーン浅間台 健康フェスタ ブース出展	特別養護老人ホーム パストーン浅間台	学生7名
8/5	シラコバト夏祭り	上尾シラコバト住宅	学生13名、職員1名
8/27	若竹ホーム 納涼祭	若竹ホーム	学生3名
	大学ボランティアセンター全国フォーラム2017 参加	明治大学	職員3名
10/15	コミ協フェスタ in 大谷 アカベラ部ステージ出演	上尾市民体育館	学生20名
10/22	さいたま KI-TA まつり 2017 模擬店・ボランティア参加	宮原駅ロータリー	学生約20名、 他教職員
10/14,21	江戸里神楽第10回公演 ボランティア参加	文教大学	学生8名
10/29	パストーン浅間台 秋祭り	特別養護老人ホーム パストーン浅間台	学生2名
11/3,4	ボラフェス2017 (ヴェリタス祭)	本学	学生17名 来場者約1,500名
11/12	さいたま国際マラソン大会 陸上競技部による運営補助	さいたま市・越谷市	学生30名、職員1名
11/11,12	あげお産業祭 アカベラ部ステージ・ボランティア参加	上尾市民体育館	学生19名
11/25,26	上尾消費生活展 ボランティア参加	上尾市コミュニティセンター	学生8名
12/6	宮原にサンタがやってくる (主催: 宮原青年クラブ) ボランティア参加	宮原駅東口公園	学生4名
12/16	大谷支所との連携企画「防災講座」を実施		学生5名、職員2名
1/14	てらこや新都心 てらこやラボ もちつきイベント参加	てらこや新都心	学生4名
2/16	ベルベッキオとの交流イベント実施	本学	学生10名
3/9	「東日本大震災を覚える集い」開催	本学	学生・教職員約20名
3/11	SAVE× 聖学院高校生徒会合同募金 in 大宮	大宮駅	1大学1高校19名 (内聖大12名)
3/12	「3.11 いま僕たちにできること」協力	聖学院高校	学生4名、卒業生1名 職員1名
3/18	こども★夢★未来★フェスティバル2018	埼玉県民活動総合センター	学生15名

3. 学生サポートメンバー養成講座

学生と共につくる、育つセンターを目指し、2012年のセンター開設時から年1回、「聖学院大学のボランティア活動を盛り上げる」学生コーディネーター養成を目的とした講座を実施。

3. 防災用備蓄倉庫・防災拠点校

上尾市と防災用備蓄倉庫の使用等に関する協定書を交わし、2009年より毛布、担架、発電機など非常用の備蓄品を本学倉庫に設置している。

また2012年には災害時における防災拠点校の使用に関する覚書を交わした。

4. 避難施設の指定について同意

本学は埼玉県、国民保護法第148条1項に指定する避難施設の指定について、2011年に同意をした。